

残る  
消えゆく



法幢寺古墳群（加茂野町）

# 地名のはなし

七

## 「三十塚」のはなし

加茂野町鷹之巣に「三十塚（みそづか）」という<sup>あざ</sup>字名があります。この地名は、地域の人によると、昔30ぐらいの塚があったことから、そう呼ばれるようになったといわれています。

加茂野小学校の西から関市との市境までの国道248号沿い辺りは、加茂野町の中でも古墳が集中している所です。市の遺跡地図を見ても、鷹之巣大塚古墳や<sup>ほう</sup>法幢寺古墳群など10数基が記されています。このことから「三十塚」や、そのすぐ東の「大塚」という地名は、この地域に古墳や塚があった様子を伝えています。